



かたつむり通信 36号

電話／オンラインチャット 2025 年のまとめ（集計期間：2025/1/1～2025/12/31）

私たちのもっとも大切な活動は、電話とオンラインチャットで子どもたちの話を聴くことです。昨年一年間、メンバーが力を合わせて多くの子どもたちとつながることができました。仕事を調整したり、仕事や学校が終わった後にボランティアに駆け付けたりして、一年で178日、のべ908人が子どもの声を聴く活動に参加しました。

	活動日	参加メンバー	のべ
電話	114日	60人	658人
チャット	64日	33人	250人
計	178日		908人

私たちがつながることができた、お話しすることができた件数は1,800件あまり。電話はこの件数以外に、無言（「チャイルドラインです」で切れてしまう）がたくさんあります。1件あたりの通話時間は電話にくらべてチャットは1.5倍以上と長くなっています。子どもたちが気持ちを整理しながら、自分の思いをしっかりと言葉にしてお話ししてくれる様子を感じられます。

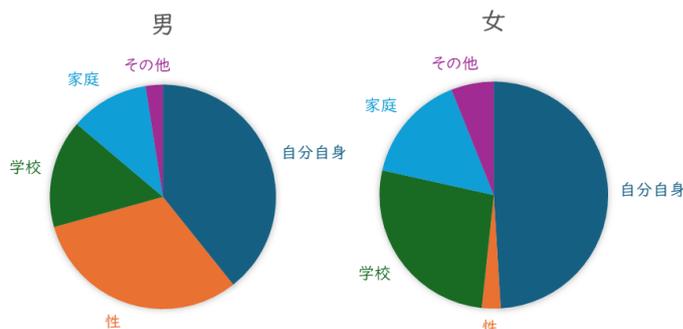
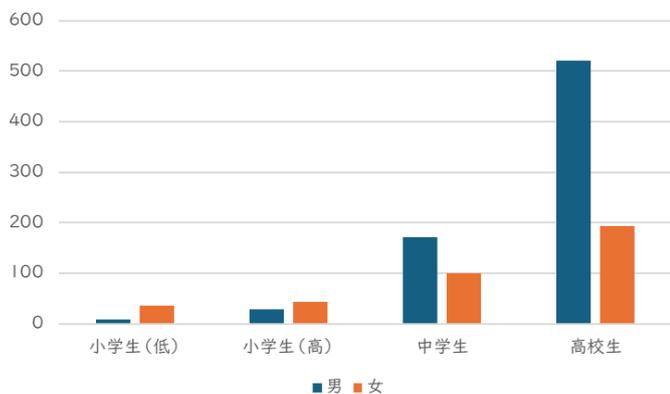
	受信	うち、会話成立	1件平均
電話	4,971件	1,331件	19分
チャット	574件	500件	32分
計	5,545件	1,831件	23分

昨年一年間の自殺者数は初めて2万人を下回り最も少なくなりましたが、小中校生の自殺者は532人と過去最多になりました。子どもたちは追い込まれ、苦しんでいます。私たちのもとに来てくれた子どもたちからも、これまで家庭でも学校でも誰にも言えなかった「死にたい」気持ちがたくさん語られました。特にチャットで「死にたい」「消えたい」気持ちを話す子どもが多いです。私たちは、決して否定することなく、「死にたい」気持ちに寄り添い受け止めることを心がけています。「希死念慮」を感じられた件数は以下の通り。

	件数	割合
電話	63件	5%
チャット	76件	15%
計	139件	8%

◆電話の傾向

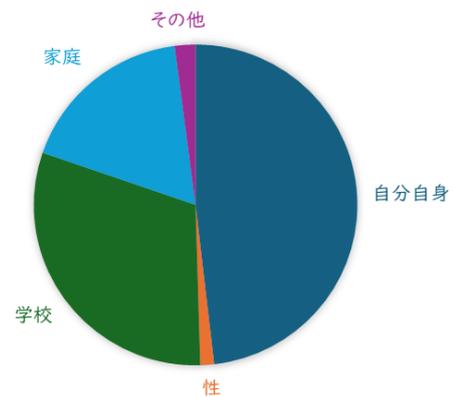
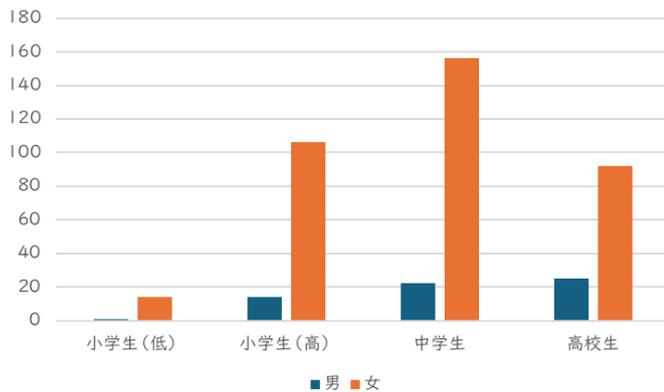
電話をかけてくれる子どもは年齢が上がるほど多く、高校生の男子が最も多いです。



電話をかけてくれた「主訴」は「自分自身」の心のことが最も多く、男子では次いで「性」の話が多くなっています。男女ともに多いのは、学校や家庭での悩み、問題です。電話の件数は年々減少傾向にあります。

◆オンラインチャットの傾向

チャットに来てくれる子どもは小中学生が多く、9割近くは女子です。「性」の悩みはほとんどなく、心の問題、学校・家庭のことが話されます。チャットの件数は年々増加しています。



◆相談の内容

子どもたちから寄せられた相談を少し具体的に紹介します。

学校の問題としては、クラスや部活での人間関係や、いじめによって居場所がないこと、学校に行けていないこと、学校に行きたくない思いを話してくれました。家庭の問題では、親からの虐待や、虐待まではいかないものの支配、抑圧されていることや、きょうだいとの扱いの差などにより、つらい、苦しい思いを抱えていました。SNS やビデオ通話で性的なことをさせられた、写真を送ってしまったといった相談も増えてきました。複合的な原因だったり、原因ははっきりしないけど気分が落ち込む、自信が持てなかったり、不安が強いという悩みや、自傷行為をしているという相談も多くありました。

そのような相談に対して私たちは、安易なアドバイスをすることなく、「気持ちを聴ききる」ことを大切に考え子どもたちと関わっています。子どもたちは勇気を出して、高いハードルを超えてチャイルドラインに来てくれました。話したいことを全部話せて、気持ちを吐き出してスッキリした、と言って帰ってもらえたときが喜びです。

チャイルドライン夏のキャンペーン（2025年8月22日～9月4日）

夏休み明けに最も子どもの自殺が多く、この時期にマスコミの報道も多くなっています。私たちもTBSの「THE TIME,」に取材していただきました。



マスコミの報道を見ていると「子どもの変化に気づくには」など、子どもがSOSを出せない状況が語られていますが、私たちは、これは身近な大人が相談先になれていない、SOSを受け取れていない大人側の問題だと思っています。

チャイルドラインには大人に話を聞いてもらえない、どこにも居場所をなくした子どもたちがやってきます。今年も夏休み前後の期間、いつもより終了時刻を延長して、22時まで、電話とチャットで子どもの「今の気持ち」に耳を傾けました。

24期受け手養成研修&公開講座（2025年10月7日～12月16日）

今年度も無事に「受け手・サポーター養成研修」（全11回）を終えることができました。その中から、授業として受講した大学生のメンバー含め、16名がフォローアップ研修を経て私たちの活動に参加してくれることになりました！

10/28は公開講座A、長谷川俊雄さんの「お互いを尊重するためのバウンダリー」を開催し、オンライン参加者も含めて69名の方に聞いていただくことができました。バウンダリーとは、自分と他者を区別する心理的・身体的な

「境界線」のこと。講演では長谷川さんの45年のソーシャルワークの凄みを感じました。お話を聞いて、自分は遠目に境界線を引いてるな、支援の場では境界が混乱しがちだな、と自覚したり、チャイルドラインに来てくれる子どもの相談でもよくある「からだの境界」について、こう理解すれば良かったのか!など、たくさんの学びがありました。

11/18は高橋聡美さんをお招きしての公開講座「子どもが安心できる大人になる」。Zoom参加を含め62名の参加でした。子どもの「死にたい」をどう受け止めるか、学びを深めることができたのではないかと思います。個人的には質疑コーナーで高橋聡美さんがいったん質問をかみしめるような様子が印象的で、子どもに対してもこんな感じ

しながわチャイルドライン 公開講座 2025

会場参加 ZOOM参加

公開講座A 10月28日(火) 19-21時

お互いを尊重するためのバウンダリー

長谷川 俊雄さん
白鴎学園大学名誉教授
social work lab MIRIA 代表

子どもが安心できる大人になる

高橋 聡美さん
（一社）高橋校長研究所 代表

公開講座B 11月18日(火) 19-21時

参加費 社会人 1000円 立正大学品川キャンパス 10号館 会場
学生 600円

この講座は...

お問い合わせ: shingawa@childline.or.jp

でいったん受け止める態度を大切にしたいと思いました。

ご参加頂きました皆さま、本当にありがとうございました。



(子育てメッセ) 児童虐待防止啓発事業 (2025年10月31日)

子育てメッセと同時開催で、しながわチャイルドラインを含む4つのNPOで品川区から委託を受けて企画運営している「児童虐待防止啓発事業」、親子コンサートと講演会が開催されました。

親子コンサートには、なんと160人の親子の参加がありました。品川区で子育て中の3人(しながわこども笑顔プロジェクト「S」)が、乳幼児親子の心に響き、笑顔になれる歌や遊び歌を届けました。

午後の講演会は50名ほどの参加となり児童精神科医

山口有紗さんのお話に耳を傾け、30分ほどトーク交流もし、有意義な時間でした。



竹早教員保育士養成所での出前授業 (2025年12月4日)

来年度から保育者として社会に巣立つ学生さんに、「子どもたちを受け止める ~チャイルドラインはどのように子どもの気持ちを聴いているか~」と題してお話をしてきました。子どもに関わるプロになる勉強をしてきた皆さんの進路に少しでも役に立てたことがあったらと願います。



出前授業の後、寄せられた感想の一部を紹介します。

- 子どもだからと曖昧にせず、子どもを1人の人間として認識して関わるのが大切だと分かった。
- 私は中高生の時にチャイルドラインを使ったことがあって、今日はこんな感じだったんだなっていうのを改めて知ることができました。
- 話を聞いてもらえることで、私自身も心が軽くなったり気分がよくなったりしたこともあるので、話を聞きたときは今回気づいたことや学んだことを意識して聞きたいと思いました。
- 子どもの相談にこうしたらいいんじゃない?という言葉かけられるのではなく、子どもの落とし所をさぐりながら話を聞いてあげて、どこかで折り合いが着くように話すことも大切だと学びました。
- 子どもが道徳的に反してるようなことをしてる内容だった場合の寄り添い方を知ってとても勉強になりました。

品川区立城南第二小学校での出前授業（2025年12月22日）

冬休み前の子どもたちに、困ったときに行動できる、相談していいんだ、と思ってもらえるよう、朝礼の中の短い時間でお話ししてきました。出前授業は校長室からiPadを使って1年生～6年生の各教室にオンラインで配信するという形。やっているときは、子どもたちの顔が見えないので手ごたえがなかったのですが、Googleフォームに感想や質問を寄せてもらい、それを見て「伝わったんだな…」とあったかい気持ちになりました。

以下、子どもたちから寄せられた質問と、子どもたちに返した回答を少しだけ紹介します。

しつもん	おこたえ
<ul style="list-style-type: none"> ・ やりがいはありますか？ ・ チャイルドラインの人たちは、いろんな人の話を聞いていて鬱にならないのですか ・ なぜその仕事をしているのですか 	<p>来てくれた子どもが話したいことを話せたかな、って感じたときうれしいです。</p> <p>いろんな話をきいて苦しくならないように、仲間同士でささえるしくみがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ どのくらいの時間寝るのがいいか？ 	寝たいだけ寝られるといいなと思います！
<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら一つのことに集中できるか 	じゅうぶんな「息抜き」とセットでやってみては？
<ul style="list-style-type: none"> ・ チャイルドラインは心が電話したらスッキリしますか？ 	スッキリしたらいいな、って考えて電話を受けますよ。
<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら勇気が出るのか 	勇気を出すための安全な場所がほしい、かな？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 何故このようなプロジェクトを始めたのか 	話を聞いてもらえない子どもがどこかにいるなら私たちが、っていうところでしょうか。

ご支援ありがとうございます（集計期間：2025/7/1～2025/12/31）

寄付金・賛助会費・助成金の総額：1,044,000円

ご支援いただいた個人：22名

井上 耕一 様／瓜生 あつこ 様／岡崎 和代 様
 岡村 紀男 様／甲斐 常逸 様／金子 みゆき 様
 木崎 都志子 様／北島 尚志 様／小菅 明 様
 末松 涉 様／高橋 潮 様／谷山 京子 様
 中村 国雄 様／仁分 真智子 様／東内 一明 様
 藤井 裕乃 様／本道 政夫 様／三澤 章子 様
 山田 巴 様／吉田 啓子 様

ご支援いただいた団体：

一般社団法人 昭和会館 様
 立正佼成会 品川教会 様

東京Ⅲゾントクラブ 様

たつのこどもクリニック 様

しなチャイの運営は正会員の会費、賛助会員さまの会費、寄付金、助成金によって成り立っています。会費、ご寄付の使途は、子どもたちに配布するカード作成費（1枚0.7円）、公開講座の開催費などです。

【賛助会員】年会費「1口2,000円」から何口でも

銀行名：ゆうちょ銀行

口座名義人：トクヒ)シナガワチャイルドライン

記号：00160-5／番号：664278

※ゆうちょ銀行以外からお振込みいただく場合

支店名：〇一九(ゼロイチキョウ)

預金種別：当座預金／口座番号：0664278

発行： 特定非営利活動法人 しながわチャイルドライン

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-23-24 コーポ柴田 203

Tel. / Fax. 03-5462-2868

発行月：2026年2月

ホームページ

Facebook

